

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1940030	__ 001
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	配水管布設工事					
担当部名	上下水道事業部		担当課名	上水道事業課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画 水道法	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	上水道給水区域内における給水要望者に安全でおいしい水を供給する。					
内容 (手段・手法など)	上水道給水区域内における給水要望に対応するため配水管の布設を行う。					
事業の 対象	何を	安全でおいしい水				
	誰に	上水道給水区域内の給水要望者				
	どのくらい	給水要望者に水道水を供給				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	給水区域内の給水要望に対して L=4,174 m の配水管布設を実施					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	51,805	1,594	46,092	1,427	45,379	1,427
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	51,805	1,594	46,092	1,427	45,379	1,427

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		231,854	269,583	282,206
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	配水管布設	231,854	269,583	282,206
	-	0	0	0
	-	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		231,854	269,583	282,206

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	283,659	315,675	327,585

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	151,600	104,500	124,100
使用料・手数料	0	0	0
その他	61,129	74,121	89,023
計(F)	212,729	178,621	213,123

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	70,930	137,054	114,462

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	水道使用者(給水人口)	水道使用者(給水人口)	水道使用者(給水人口)
受益者数	347,509	344,571	343,091
受益者負担額(千円)	61,129	74,121	89,023
受益者負担率(%)	21.6%	23.5%	27.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	204	398	334

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	布設延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	5,100	5,100	5,498	
実績値	3,933	3,823	4,174	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	—		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	
実績値	—	—	—	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	上水道給水区域内の給水要望者は、安心・安全な水道水の使用を希望しており、水道事業者は、利用者に対し水道水を供給する義務がある。 水道事業は、市民の福祉、公共の利益に密接な関係を有し公共の利益を保護するため厚生労働大臣の認可が必要とされることから、原則、市が経営する事業である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	給水要望者から水道水の供給に必要な工事負担金を徴収しており、配水管を布設することで水道の普及が図られ料金収入の増加につながることから、費用対効果は担保されている。 水道事業は、市民の福祉、公共の利益に密接な関係を有し公共の利益を保護するため厚生労働大臣の認可が必要とされることから、原則、市が経営する事業である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	水道の普及促進が公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与されることから、配水管を布設し安全でおいしい水を供給することにより、給水要望者に対し快適な生活環境を創出することができる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	水道事業は、原則、受益者が使用量に応じて負担する事業であることから公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	水道は、市民生活において重要インフラであり、必要性・公平性ともに高い事業である。人口減少による需要の減少や立地適正化計画などを踏まえ、工事負担金制度の見直し等を行い効率的な整備を進めていく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1940030 _ 002

【1.基本情報】

事業名	配水管布設替工事					
担当部名	上下水道事業部		担当課名	上水道事業課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	63	年度～	年度	根拠法令・関連計画	水道法

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	老朽化した管路の布設替えを行い耐震化を図ることで、地震災害時においても安定した水道水の供給を可能とし、安全で安心して暮らせる都市生活を創出する。					
内容 (手段・手法など)	経年劣化や過去の破裂・破損事故等を基に管路状況を判定するとともに、他の事業が行う工事とも連携を図りながら老朽化した配水管の更新を実施する。					
事業の 対象	何を	安全でおいしい水道水				
	誰に	水道利用者				
	どのくらい	常時はもとより災害時においても安定した水の供給を確保する。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	老朽化した管路の予防保全及び耐震化として L=22,181m の配水管の布設替えを実施					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	109,168	3,359	107,914	3,341	106,371	3,345
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	109,168	3,359	107,914	3,341	106,371	3,345

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		1,784,536	2,003,997	1,855,927
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	配水管布設替	1,756,507	1,982,899	1,838,574
	設計業務委託	28,029	20,936	17,322
	補償金	0	0	31
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,784,536	2,003,997	1,855,927

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,893,704	2,111,911	1,962,298

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	7,000	70,340	64,331
県支出金	0	0	0
市債	1,049,200	976,600	1,332,600
使用料・手数料	0	0	0
その他	58,501	66,453	47,171
計(F)	1,114,701	1,113,393	1,444,102

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	779,003	998,518	518,196

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	水道使用者(給水人口)	水道使用者(給水人口)	水道使用者(給水人口)
受益者数	347,509	344,571	343,091
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,242	2,898	1,510

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	布設替延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	25,090	22,970	24,500	
実績値	24,622	23,743	22,181	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	管路耐震化率		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	20.1	21.5	22.4	
実績値	20.1	21.5	22.8	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	安全で安心して暮らせる都市生活の創出するため、常時はもとより災害時等においても安定した水道水の供給を可能とする必要がある。 水道事業は、市民の福祉、公共の利益に密接な関係を有し公共の利益を保護するため厚生労働大臣の認可が必要とされることから、原則、市が経営する事業である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	老朽化などを点数化して優先順位を定めた計画に基づき事業を実施しており、効率的に事業を実施している。 水道事業は、市民の福祉、公共の利益に密接な関係を有し公共の利益を保護するため厚生労働大臣の認可が必要とされることから、原則、市が経営する事業である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	老朽化した管路の更新を行うことにより、耐震化とあわせて破裂・破損事故の減少、有収率の向上にも効果が得られる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	水道事業は、原則、受益者が使用量に応じて負担する事業であることから公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	安全で安心して暮らせる都市生活を創出するためには水道水の安定供給は必要不可欠であり、老朽化した管路の更新とともに耐震化を計画的に進めていくことが重要である。人口減少による需要の減少や立地適正化計画などを踏まえた計画の見直し等を行い、管路をダウンサイジングするなど再構築を進めていく。